

日時 : 2016年 3月 12日 (土曜日) : Kick Off 20:45

場所 : Stadium MPPG, Johor, Malaysia

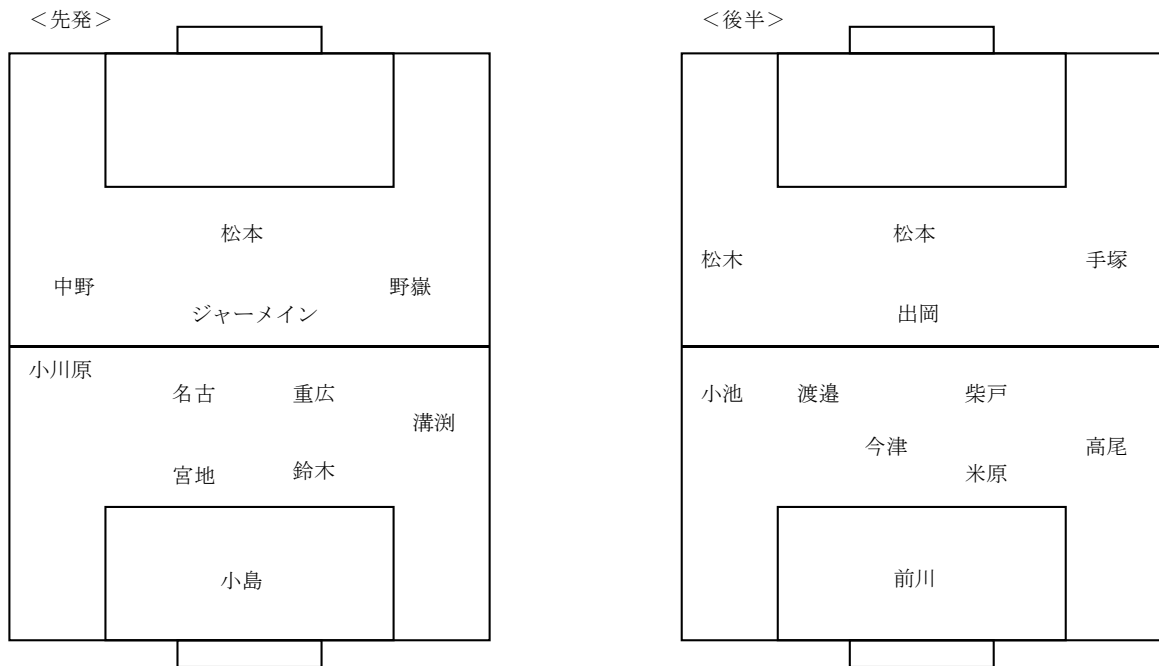
■ 試合結果 ■

全日本大学選抜 1 $\left(\begin{array}{c} 0-1 \\ 1-0 \end{array} \right)$ 1 JDT セカンドチーム

■ 得点 ■

[時間]	[チーム]	[得点者]	[アシスト]
33分	JDT セカンド	Amirul Hadi Zainal	
78分	全日本	高尾	

■ 布陣 ■



■ 戦評 ■

全日本大学選抜とJDTのセカンドチームとの試合がMPPGスタジアムで行われた。フォーメーションはJDTセカンドチームの1-4-4-2に対して、同様に、全日本は1-4-4-2で試合に臨んだ。試合の立ち上がりから、全日本は多くのチャンスを作り出し、立て続けにシュートを打つ。しかし、最終局面での精度を欠き、なかなか得点には至らない。一方、JDTセカンドチームはプレッシングゾーンをセンターハーフライン付近にセットし、ボールを奪うとシンプルに全日本のDFラインの背後を狙い、反撃の機会をうかがう。そうすると、全日本は前半33分に一瞬の隙をつかれ、ミドルシュートを決められてしまう。その後も全日本は何度か決定機をむかえるが得点には至らない。後半に入っても、全日本は試合の主導権を握りながら試合を進める。ボランチに入った渡邊が効果的にボールをサイドに散らし、攻撃を活性化する。そして、後半33分、高尾が相手のクリアミスペナルティエリア内で拾い、ゴール左隅にシュートを打ち同点とする。その後も、全日本は決勝点を奪うために、積極的に攻撃を仕掛けるも、あと一歩ものところで相手DFに阻まれてしまいそのままタイムアップ。同点(1-1)で試合を終えた。練習試合というような雰囲気ではなく、厳重なセキュリティや地元のサポーターの応援がある緊張感のある雰囲気の中で、選手・スタッフ共々良い経験ができた試合であった。最後に、リーグ期間中にも関わらず協力して頂いたJDTのチーム関係者の皆様に改めて謝意を表したい。

(文責：全日本大学選抜コーチ 田村達也)